

一三七八番

木綿ゆふかけて 齋いはふこの杜もり 越こえぬべく 思おもほゆる
かも 恋こひの繁しげきに

一三七九番

絶たえず行く 明日あす香かの川かはの 淀よどめらば 故ゆゑしもあ
ること 人ひとの見みまくに

一三八〇番

明日あす香かがは 瀬せ々に玉たま藻もは 生おひたれど しがらみ
あれば なびきあへなくに

一三八一番

広ひろ瀬せがは 袖そで漬つくばかり 浅あさきをや 心こころ深ふかめて
我あが思おもへるらむ